

Lev

Chapter 6

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל-מֹשֶׁה לֵאמֹר: 1
主はまたモーセに言われた、
H0413 H3068 H1696 H0559 H4872

主はまたモーセに言われた、

וְנָפַשׁ כִּי תַחַטָּא וּמַעַלָּה וּמַעַלָּה וּמַעַלָּה וּמַעַלָּה 2
その隣人を して-欺いた 主に-対して 不正を して-不実を-行い 罪を-犯し もし 人が
H5997 H3584 H3068 H4604 H4603 H2398 H5315

אִם אֶשְׂקָה אֶת-בְּנֵי-אָדָם אִם אֶשְׂקָה אֶת-בְּנֵי-אָדָם 3
攫取した あるいは 強奪に-ついて あるいは 手の 手付けに-ついて あるいは 預かり物に-ついて
H6231 H1498 H3027 H8667 H6487

אֶת-עַמִּיתוֹ: 4
その隣人を [を]
H5997 H0853

「もし人が罪を犯し、主に對して不正をなしたとき、すなわち預かり物、手にした質草、またはかすめた物について、その隣人を欺き、あるいはその隣人をしえたげ、

אִם אֶשְׂקָה אֶת-בְּנֵי-אָדָם אִם אֶשְׂקָה אֶת-בְּנֵי-אָדָם 3
偽りの ~の-上に して-誓った それを して-否認し 落とし物を 見つけた あるいは
H8267 H7650 H3584 H0009 H4672

אֶת-עַמִּיתוֹ: 4
これらに-おいて 罪を-犯す 人が 行う その すべての 一つの ~に-ついて
H2007 H2398 H0120 H3605 H0259

あるいは落し物を拾い、それについて欺き、偽って誓うなど、すべて人がそれをなして罪となることの一つについて、

אִם אֶשְׂקָה אֶת-בְּנֵי-אָדָם אִם אֶשְׂקָה אֶת-בְּנֵי-אָדָם 3
その 其の-奪った-物を [を] して-返す 罪ある-者と-なった 罪を-犯し もし して-なる
H1500 H0853 H7725 H0816 H2398 H1961

אִם אֶשְׂקָה אֶת-בְּנֵי-אָדָם אִם אֶשְׂקָה אֶת-בְּנֵי-אָדָם 3
その 其の-預かり物を [を] あるいは 攫取した 其の 攫取した-物を [を] あるいは 奪った
H6487 H0853 H6231 H6233 H0853 H1497

אֶת-עַמִּיתוֹ: 4
見つけた 其の 其の-落とし物を [を] あるいは 彼に 預けられた
H4672 H0009 H0853 H0854 H6485

罪を犯し、とがを得たならば、彼は其のかすめた物、しえたげて取った物、預かった物、拾った落し物、

5 אוּ מִכֹּל אֲשֶׁר-יִשָּׁבַע עָלָיו לְשָׁקֵר וְשָׁלַם אֹתוֹ בְּרֵאשִׁוֹ
 あるいは すべてから その 誓った その-上に 偽りで そして-償う それを その-元金で
 H0853 H8267 H7650 H3605

וְחִמְשָׁתָיו יוֹסֵף עָלָיו לְאִשֶּׁר הוּא לוֹ וְיִתְּנֶנּוּ בְּיוֹם
 そして-その-五分の-一を 加える その-上に その-人に それは 彼の-もの 与える ~の-日に
 H3254 H2549 H1931 H5414 H3117

אֲשָׁמוֹתָיו:
 その-罪の-償いの
 H0819

または偽り誓ったすべての物を返さなければならない。すなわち残りなく償い、更にその五分の一をこれに加え、彼が
 愆祭をささげる日に、これをその元の持ち主に渡さなければならない。

6 וְאֵת-אֲשָׁמוֹ יָבִיא לַיהוָה אֵיל תָּמִים מִן-הַצֹּאֵן
 そして-[を] その-罪の-償いを 持って-来る 主に 雄羊を 傷の-ない ~から 群れから
 H0853 H817 H0935 H3068 H549 H6629

בְּעֵרְכָּךָ בְּאִשָּׁם אֶל-הַכֹּהֵן:
 あなたの-評価額に-よる 罪の-償いとして ~に 祭司の-もとに
 H6187 H0817 H0413 H3548

彼はその償いとして、あなたの値積りにしたが、雄羊の全きものを、群れの中から取り、これを祭司のもとに携えて
 きて、愆祭として主にささげなければならない。

7 וְכָפַר עָלָיו הַכֹּהֵן לִפְנֵי יְהוָה וְנִסְלַח לוֹ עַל-אֶחָת
 そして-贖う 彼の-ために 祭司が ~の-前で 主の そして-赦される 彼は ~について 一つの
 H0853 H3548 H6440 H3068 H5545 H0259

מִכֹּל אֲשֶׁר-יַעֲשֶׂה לְאִשְׁמָה בָּהּ:
 すべてから その 行う 罪を-犯す それに-おいて
 H0819 H3605

こうして、祭司が主の前で彼のためにあがないをするならば、彼はそのいずれを行ってとがを得てもゆるされるであ
 ろう」。

8 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל-מֹשֶׁה לֵּאמֹר:
 そして-語った 主は ~に モーセに 言うて
 H1696 H3068 H0413 H4872 H0559

主はまたモーセに言われた、

9 צַו אֶת-אַהֲרֹן וְאֵת-בְּנָיו לֵאמֹר זֹאת תֹּזְרֹת הָעֹלָה
 命じよ [を] アロンと 言って その-子らに これは おきてである 全焼の-献げ物の
 H6680 H0853 H0175 H0853 H0559 H2063 H8451

הוּא הָעֹלָה עַל-מוֹקְדָה עַל-הַמִּזְבֵּחַ כָּל-לַיְלָה עַד-הַבֹּקֶר
 それは 全焼の-献げ物 ~の-上の ~の-上の 燃える-所の ~の-上の 祭壇の すべての 夜の-間 ~まで
 H1931 H4169 H3605 H4196 H5704 H3915

הַבֹּקֶר וְאֵשׁ הַמִּזְבֵּחַ תֹּוֹקֵד בּוֹ:
 朝まで そして-火は 祭壇の 燃え-続ける その-上で
 H1242 H0784 H4196 H3344

「アロンとその子たちに命じて言いなさい、『燔祭のおきては次のとおりである。燔祭は祭壇の炉の上に、朝まで夜も
 すがらあるようにし、そこに祭壇の火を燃え続けさせなければならない。』

10

בְּשָׂרוֹ	עַל-	יִלְבַּשׁ	בֵּרַ	וּמְכַנְסֵי-	כִּד	מִדּוֹ	הַכֹּהֵן	וְלִבַּשׁ	
その-肌の	～の-上に	着る	亜麻布の	そして-下着を	亜麻布の	その-衣を	祭司は	そして-着る	
H1320		H3847	H0906	H4370	H0906	H4055	H3548	H3847	

עַל-	הָעֹלָה	אֶת-	הָאֵשׁ	תֹּאכַל	אֲשֶׁר	הַדָּשָׁן	אֶת-	וְהָרִים	
～の-上の	全焼の-献げ物を	[を]	火が	食い-尽くした	その	その-灰を	[を]	そして-取り-除く	
		H0853	H0784	H0398		H1880	H0853		

הַמִּזְבֵּחַ:	אֶצֶל	וְשָׂמוּ	הַמִּזְבֵּחַ
祭壇の	～の-そばに	そして-置く	祭壇の
H4196	H0681		H4196

祭司は亜麻布の服を着、亜麻布のももひきを身につけ、祭壇の上で火に焼けた燔祭の灰を取って、これを祭壇のそばに置き、

11

הַדָּשָׁן	אֶת-	וְהוֹצִיא	אֲחֵרִים	בְּגָדִים	וְלִבַּשׁ	בְּגָדָיו	אֶת-	וּפָשֵׁט	
その-灰を	[を]	そして-運び-出す	別の	衣を	そして-着る	その-衣を	[を]	そして-脱ぐ	
H1880	H0853	H3318	H0312		H3847		H0853	H6584	

אֶל-	מִחוּץ	אֶל-	לְמַחֲנֶה	מָקוֹם	טָהוֹר:
～へ	外の	～へ	宿営の	場所へ	清い
H0413	H2351	H0413	H4264	H4725	H2889

その衣服を脱ぎ、ほかの衣服を着て、その灰を宿営の外の清い場所に携え出さなければならない。

12

וּבָעֵר	תִּכְבֶּה	לֹא	בּוֹ	תִּיקָר-	הַמִּזְבֵּחַ	עַל-	וְהָאֵשׁ	
そして-燃やす	消えない	ない	その-上で	燃え-続ける	祭壇の	～の-上の	そして-火は	
	H3518	H3808		H3344	H4196		H0784	

הָעֹלָה	עָלֶיהָ	וְעָרַף	בְּבֹקֶר	בְּבֹקֶר	עֵצִים	הַכֹּהֵן	עָלֶיהָ
全焼の-献げ物を	その-上に	そして-並べる	朝-ごとに	朝-ごとに	薪を	祭司は	その-上で
			H1242	H1242	H6086	H3548	

הַשְּׁלָמִים:	חֲלָבֵי	עָלֶיהָ	וְהִקְטִיר
和解の-献げ物の	脂肪を	その-上で	そして-焼いて-煙とする
H8002	H2459		

祭壇の上の火は、そこに燃え続けさせ、それを消してはならない。祭司は朝ごとに、たきぎをその上に燃やし、燔祭をその上に並べ、また酬恩祭の脂肪をその上で焼かなければならない。

13

אֵשׁ	תָּמִיד	תִּיקָר	עַל-	הַמִּזְבֵּחַ	לֹא	תִּכְבֶּה:	ס
火は	絶えず	燃え-続ける	～の-上で	祭壇の	ない	消えない	[区切り]
H0784	H8548	H3344		H4196	H3808	H3518	

火は絶えず祭壇の上に燃え続けさせ、これを消してはならない。

14

יְהוָה	לְפָנָי	אַהֲרֹן	בְּנֵי-	אֶתָּה	תִּקְרַב	הַמִּנְחָה	תּוֹרַת	וְזֹאת
主の	～の-前で	アロンの	子らが	それを	献げる	穀物の-献げ物の	おきてである	そして-これは
H3068	H6440	H0175		H0853	H7126	H4503	H8451	H2063

אֶל-	פָּנָי	הַמִּזְבֵּחַ:
～の-前で	面の	祭壇の
H0413	H6440	H4196

素祭のおきては次のとおりである。アロンの子たちはそれを祭壇の前で主の前にささげなければならない。

15
 וּמִשְׁמֶנֶהּ וּמִנְחָהּ מִסֹּלֶת בְּקִמְצוֹ מִמֶּנּוּ וְהָרִים
 そして-その-油から 穀物の-献げ物の 上等の-小麦粉から その-ひとつかみで それから そして-取る
[H8081](#) [H4503](#) [H5560](#) [H7062](#)

וְהִקְטִיר וְהִנְחָה עַל- אֲשֶׁר הַלְבֵנָה כָּל- וְאֵת
 そして-焼いて-煙とする 穀物の-献げ物の ~の-上の その 乳香を すべての そして-[を]
[H4503](#) [H3828](#) [H3605](#) [H0853](#)

לִיהוָה: אִזְכָּרְתָּהּ נִיחָח רִיחַ הַמִּזְבֵּחַ
 主への その-記念の-分として なだめの 香りの 祭壇の上で
[H3068](#) [H0234](#) [H5207](#) [H7381](#) [H4196](#)

すなわち素祭の麦粉一握りとその油を、素祭の上にある全部の乳香と共に取って、祭壇の上で焼き、香ばしいかおりとし、記念の分として主にささげなければならない。

16
 בְּמָקוֹם תֹּאכְלוּ מִצּוֹת וּבָנָיו אֶהְרֹן יֹאכְלוּ מִמֶּנּוּ וְהַנּוֹתֵרֶת
 場所で 食べる 種なし-パンとして その-子らが アロンと 食べる それから そして-残りを
[H4725](#) [H0398](#) [H4682](#) [H0175](#) [H0398](#) [H3498](#)

קֹדֶשׁ בַּחֲצַר אֹהֶל- מוֹעֵד יֹאכְלוּהָ:
 聖なる 幕屋の 会見の それを-食べる
[H0398](#) [H4150](#) [H0168](#) [H6918](#)

その残りはアロンとその子たちが食べなければならない。すなわち、種を入れずに聖なる所で食べなければならない。会見の幕屋の庭でこれを食べなければならない。

17
 אֶתְּהִי חֶלְקָם חֶמֶץ לֹא
 それを わたしは-与えた 彼らの-分として 酵母を-入れて 焼かない ない
[H0853](#) [H5414](#) [H0644](#) [H3808](#)

וְכַאֲשֶׁם: כִּחַטָּאת הוּא קֹדֶשׁ מֵאֲשִׁי
 罪の-償いの-献げ物の-ように 罪の-献げ物と それは 中の-聖 聖の わたしの-火による-献げ物から
[H0817](#) [H1931](#) [H6944](#) [H6944](#) [H0801](#)

これは種を入れて焼いてはならない。わたしはこれをわたしの火祭のうちから彼らの分として与える。これは罪祭および愆祭と同様に、いと聖なるものである。

18
 עוֹלָם חֶק- יֹאכְלֶנָּה אֶהְרֹן בְּבָנָיו זָכָר כָּל-
 永遠の 定め それを-食べる アロンの 子らの-うちの 男子が すべての
[H5769](#) [H2706](#) [H0398](#) [H0175](#) [H2145](#) [H3605](#)

בָּהֶם יִגַּע אֲשֶׁר- כָּל יְהוָה מֵאֲשִׁי לְדֹרֹתֵיכֶם
 それらに 触れる その すべての 主の 火による-献げ物から あなたがたの-代々に-わたって
[H5060](#) [H3605](#) [H3068](#) [H0801](#) [H1755](#)

פ יִקְדָּשׁ:
 [区切り] 聖なる-者と-なる
[H6942](#)

アロンの子たちのうち、すべての男子はこれを食べることができる。これは主にささげる火祭のうちから、あなたがたが代々永久に受けるように定められた分である。すべてこれに触れるものは聖となるであろう』」。

19
 לְאֹמֶר: מוֹשֶׁה אֶל- יְהוָה וַיִּדְבֹר
 言っ て モーセに ~に 主は そして-語った
[H0559](#) [H4872](#) [H0413](#) [H3068](#) [H1696](#)

主はまたモーセに言われた、

20
 אֶהְרֹן וּבָנָיו אֲשֶׁר־ יִקְרִיבוּ לַיהוָה בְּיוֹם הַמָּשֶׁחַ קָרְבָּן אֶהְרֹן וְקָרְבָּן אֲשֶׁר־ יִקְרִיבוּ לַיהוָה בְּיוֹם הַמָּשֶׁחַ
 アロンとその子らの 献げ物である これは
 H0175 H2088

אֵתוֹ עֲשִׂיתָּהּ הָאֵפָה סֹלֶת מִנְחָה תָּמִיד מִחֲצִיתָהּ בַּבֶּקֶר
 彼の 十分の一の エパの 上等の小麦粉を 穀物の-献げ物として 常に 朝に
 H0374 H6224 H5560 H4503 H8548 H1242 H4276

וּמִחֲצִיתָהּ בְּעֶרְבֹב:
 そして-その-半分を 夕べに
 H4276 H6153

「アロンとその子たちが、アロンの油注がれる日に、主にささぐべき供え物は次のとおりである。すなわち小麦粉十分の一エパを、絶えずささげる素祭とし、半ばは朝に、半ばは夕にささげなければならない。

21
 עַל־ מַחְבֹּת בִּשְׁמֹן תַּעֲשֶׂה מִרְבֶּכֶת תְּפִינִי מִנְחָת
 ~の-上で 鉄板で 油で 作る よく-混ぜて 持って-来る 焼いた-ものを 穀物の-献げ物の
 H8081 H4227 H7246 H0935 H8601 H4503

בְּתִים תִּקְרִיב רֵיחַ תַּעֲשֶׂה נִיחַח לַיהוָה:
 砕いた-ものとして 献げる 香りの 焼いた-ものとして 主への
 H7126 H7381 H5207 H3068

それは油をよく混ぜて平鍋で焼き、それを携えてきて、細かく砕いた素祭とし、香ばしいかおりとして、主にささげなければならない。

22
 וְהִכֹּהֵן הַמָּשִׁיחַ תַּחֲתָיו מִבְּנָיו יַעֲשֶׂה אֹתָהּ חֵק עוֹלָם לַיהוָה
 そして-祭司が 油-注がれた その-代わりに その-子らから 行う それを 定め 永遠の 主への
 H4899 H3548 H8478 H4503 H3548 H2706 H5769 H3068

כָּלִיל תִּקְטֹרַר:
 全部を 焼いて-煙とする
 H3632

彼の子たちのうち、油注がれて彼について祭司となる者は、これをささげなければならない。これは永久に主に帰する分として、全く焼きつくすべきものである。

23
 וְכָל־ מִנְחַת כֹּהֵן כָּלִיל תַּהֲיֶה לָּא תֹאכְלוּ:
 そして-すべての 穀物の-献げ物は 祭司の 全部 である ない 食べてはならない
 H3605 H4503 H3548 H3632 H1961 H3808 H0398

すべて祭司の素祭は全く焼きつくすべきものであって、これを食べてはならない」。

24
 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־ מֹשֶׁה לֵאמֹר:
 そして-語った 主は ~に モーセに 言って
 H1696 H3068 H0413 H4872 H0559

主はまたモーセに言われた、

25
 דַּבַּר אֶל־ אֶהְרֹן וְאֶל־ בְּנָיו יֹאמֶר זֹאת תֹּרַת הַחֲטָאת
 語れ ~に アロンに そして-~に その-子らに 言って これは おきてである 罪の-献げ物の
 H1696 H0413 H0175 H0413 H0559 H2063 H8451

בְּמָקוֹם אֲשֶׁר תִּשְׁחַט אֲשֶׁר תִּשְׁחַט הָעֹלָה תִּשְׁחַט לְפָנַי יְהוָה קֹדֶשׁ קֹדֶשׁ
 場所で そこで 屠る 屠る 全焼の-献げ物を 罪の-献げ物を ~の-前で 主の 聖の 中の-聖
 H4725 H0175 H0175 H0175 H6440 H3068 H6944 H6944

קֹדֶשׁ:
 それは
 H1931

「アロンとその子たちに言いなさい、『罪祭のおきては次のとおりである。罪祭は燔祭をほふる場所で、主の前にほふなければならない。これはいと聖なる物である。』

26
 הַכֹּהֵן 26 祭司が
 הַמִּזְבֵּחַ 罪の-献げ物を-行う
 אֹתָהּ それを
 יֹאכְלֶנָּה 食べる
 בְּמָקוֹם 場所で
 קֹדֶשׁ 聖なる
 תֹּאכֵל 食べる
 בַּחֲצַר 庭で
 אֹהֶל 幕屋の
 מוֹעֵד : 会見の
 H4150 H0168 H0398 H6918 H4725 H0398 H0853 H2398 H3548

罪のためにこれをささげる祭司が、これを食べなければならない。すなわち会見の幕屋の庭の聖なる所で、これを食べなければならない。

27
 כָּל 27 すべての
 אֲשֶׁר- 其の
 יָנַע 触れる
 בְּבִשְׂרָה 其の-肉に
 יִקְדָּשׁ 聖なる-者と-なる
 וְאֲשֶׁר そして-もし
 יִיָּה 振りかかる
 מִדָּמָהּ 其の-血が
 H1818 H6942 H1320 H5060 H3605
 עַל- 其の-上に
 תִּבְנֶה 衣に
 אֲשֶׁר 其の
 יִיָּה 振りかかった
 תִּכְבֹּס 洗う
 בְּמָקוֹם 場所で
 קֹדֶשׁ : 聖なる
 H6918 H4725 H3526

すべてその肉に触れる者は聖となるであろう。もしその血が衣服にかかったならば、そのかかったものは聖なる所で洗わなければならない。

28
 וְכֵלֵי- 28 そして-器は
 תֵּרֶשׁ 土の
 אֲשֶׁר 其の
 תִּבְשַׁל- 煮た
 בּוֹ 其の-中で
 יִשָּׁבֵר 砕く
 וְאִם- そして-もし
 בְּכֵלֵי 器で
 נְחֹשֶׁת 青銅の
 בִּשְׁלָה 煮たなら
 H1310 H3627 H7665 H1310 H2789 H3627
 וּמִרְקָ 28 そして-磨き
 וְשָׂטַף 28 そして-すすぐ
 בְּמַיִם : 水で
 H4325 H7857 H4838

またそれを煮た土の器は砕かなければならない。もし青銅の器で煮たのであれば、それはみがいて、水で洗わなければならない。

29
 כָּל- 29 すべての
 זָכָר 男子が
 בְּכֹהֲנֵים 祭司の-うちの
 יֹאכֵל 食べる
 אֹתָהּ それを
 קֹדֶשׁ 聖の
 קְדָשִׁים 中の-聖
 הוּא : それは
 H1931 H6944 H6944 H0853 H0398 H3548 H2145 H3605

祭司たちのうちのすべての男子は、これを食べることができる。これはいと聖なるものである。

30
 וְכָל- 30 そして-すべての
 חַטָּאת 罪の-献げ物で
 אֲשֶׁר 其の
 יוֹבֵא 持ち-込まれた
 מִדָּמָהּ 其の-血が
 אֶל- 其の-血が
 אֹהֶל 幕屋の
 מוֹעֵד 会見の
 H4150 H0168 H0413 H1818 H0935 H3605
 לְכַפֵּר 29 贖うために
 בְּקֹדֶשׁ 29 聖所で
 לֹא 29 ない
 תֹּאכֵל 29 食べてはならない
 בְּאֵשׁ 29 火で
 תִּשְׂרֹף : 29 焼く
 פ [区切り] 29
 H8313 H0784 H0398 H3808 H6944

しかし、その血を会見の幕屋に携えて行って、聖所であがないに用いた罪祭は食べてはならない。これは火で焼き捨てなければならない。